

- 発議案第1号** 可決
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
- 発議案第2号** 可決
国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書について
- 発議案第3号** 可決
国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書について
- 発議案第4号** 可決
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書について

- 請願第1号** 採択
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願
- 請願第2号** 採択
「国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書」採択を求める請願
- 請願第3号** 採択
「国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願

- 陳情**
陳情
子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情
- 陳情第6号** 継続審査
選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
- 陳情第7号** 継続審査
人権侵害救済法の成立に反

- 陳情第5号** 不採択
子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情
- 陳情第6号** 継続審査
選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
- 陳情第7号** 継続審査
人権侵害救済法の成立に反

- 陳情**
閉会中の継続審査
陳情
永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
- 陳情第8号** 継続審査
閉会中の継続審査
陳情
永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情

経済環境常任委員会

- 6月11日開催
付託案件と審査結果
○**議案第14号の一部** (原案可決)
○**請願第3号** (採 択)
○**陳情第4号** (採 択)

委員会質疑要約(主なもの)

○**委員 質疑要約(主なもの)**
議案第14号について
Q 担い手育成支援事業の今までの申請数と、どの程度農業をやられている方たちの支援策になるのか。
A 申請は5件です。審査が厳しく条件もあるため、すべての方ということには難しいと思われれます。

総務常任委員会

- 6月15日開催
付託案件と審査結果
○**議案第1号** (原案可決)
○**議案第2号** (原案可決)

- 議案第3号** (原案可決)
- 議案第4号** (原案可決)
- 議案第6号** (原案可決)
- 議案第7号** (原案可決)
- 議案第8号** (原案可決)
- 議案第9号** (原案可決)
- 議案第11号** (原案可決)
- 議案第12号** (原案可決)
- 議案第13号** (原案可決)
- 議案第14号の一部** (原案可決)
- 議案第16号** (原案可決)
- 陳情第6号** (継続審査)
- 陳情第7号** (継続審査)
- 陳情第8号** (継続審査)

委員会質疑要約(主なもの)

○**委員 質疑要約(主なもの)**
議案第3号について
Q さんぶの森交流センターあららぎ館という名称に決まった経緯と意味は。
A 名称については、地元山武地区の小中学校の生徒と一般市民の方から募集しの中から選定し庁議で決定しました。地元山武地区、埴谷の歌人、蔵真一郎氏が編集、発刊した日本を代表する短歌誌の名称が阿羅々木という事から山武地区に関連がある名称として決定しました。

Q 名称については、地元山武地区の小中学校の生徒と一般市民の方から募集しの中から選定し庁議で決定しました。地元山武地区、埴谷の歌人、蔵真一郎氏が編集、発刊した日本を代表する短歌誌の名称が阿羅々木という事から山武地区に関連がある名称として決定しました。
A 名称については、地元山武地区、埴谷の歌人、蔵真一郎氏が編集、発刊した日本を代表する短歌誌の名称が阿羅々木という事から山武地区に関連がある名称として決定しました。

Q 交流センターの1時間当たりの使用料は適当か。
A 山武市内にある既存の類似施設の使用料と合わせて設定しています。

Q 交流センターには出張所の部分があるのに指定管理者に任せられるのか。
A 基本的には出張所部分と交流センター部分をわける予定です。仕様については、まだ、不明な部分もあるので細かい部分は調整を図りながら取り組んでいきます。

文教厚生常任委員会

- 6月16日開催
付託案件と審査結果
○**議案第5号** (原案可決)
○**議案第10号** (原案可決)
○**議案第14号の一部** (原案可決)
- 議案第15号** (原案可決)
- 議案第20号** (原案可決)
- 議案第21号** (原案可決)
- 請願第1号** (採 択)
- 請願第2号** (採 択)
- 陳情第5号** (不採 択)

委員会質疑要約(主なもの)

○**委員 質疑要約(主なもの)**
議案第5号について
Q 奨学金に応募者がいないときはどうなるのか。また、基金として積み立てていくことはできるのか。
A 応募がなければ予算は執行しません。基金で対応することは、財政的に厳しい状況です。

Q 入札結果は競争性に欠けるのではないか。
A 非常ににかよった金額での落札になってしまいがちだが、調理器という特殊性から、ある程度やむをえない結果であったと思えます。

Q 予定価格はどのような経緯で決まったのか。
A もともとある機械の入れ替えというところから、当時納入をお願いした会社から見積もりをとりまして、その見積もりに基づいて、